

愛農消費者の会

いきいき通信

発行(株)愛農流通センター
 愛農消費者の会 いきいき通信編集部
 知多郡東浦町緒川下出口22-1
 FAX(0562)84-2352
 ainou_ikiiki@yahoo.co.jp

電気工事業から農家へ こころ野農園 (岐阜)



こころ野農園
 笹俣秀行さん

収穫祭で「こころ野の農園」の笹俣秀行さんと出会った。おいしい紅茶の試飲しながら、いろいろな話を聞くのはとても楽しい。お茶農家になる前は、電気工事の仕事をしていたらしいが、何が彼を農業に誘ったのか？

福島から避難を希望する家族がいた。アレルギーがひどく、普通の家庭での受け入れは無理だったが、空気、水が美しい環境のこころ野農園ではそれが可能だった。化学物質のない生活がそんな家族を救った。

農業は、人を助けることが出来る。化学物質を使わない農業が必要なんだと思う思いが、農業を始めるきっかけだったのかも知れない。

岐阜県東白川村は、お茶の



笹俣さんのお茶はやさしい味

産地。山間部ということもあり、虫の害は農薬を散布しなくても少ない。お茶も美味しくて育つ。こころ野農園のお茶は、笹俣さんのように優しい。ガツンとした香りや味の好きな人には物足りないかもしれないが、やさしい味を求める人にはお薦め。

私は内緒で「葉に加えて茎の部分を入れた紅茶」を送ってくれる約束をしたんだが、覚えてもらってるかしら？ (森嶋久典)

※こころ野農園のお茶は煎茶、深煎り茶、ほうじ茶、紅茶があり、値段は60g790円(税込)。愛農での販売は企画のときのみとなります。ブログ(こころ野農園で検索)もあり、各茶の特徴も書いてあります。

愛農消費者の会・いきいき通信スタッフを紹介します。
 消費者有志により運営しています。一緒にやりたい人大募集です。

- ①愛農歴
- ②消費者の会・いきいき通信に関わったきっかけは？
- ③興味があることなど。

齊藤友希子(愛農消費者の会会長、豊田市在住) ①約20年。当初はパソコンもろくに使えず切り貼りの原稿でした。②③愛農元職員の方に「復職するためのリハビリだと思って(いきいき通信を)やっごらん」と言われてリハビリどころか・・・関わって10年以上の中での学びはたくさんあります。私達の仲間にぜひなってほしいです。

豊田順子(編集長、常滑市在住) ①4年半。自分と子供がアレルギーだったのがきっかけで入会。②数年前、編集部員募集のおしらせを見て応募しました。③「無塩料理」や「酵素ごはん」に興味があります。マクロやプチ断食などいろいろやりましたが、食べ物でよくも悪くも体が変わるのを実感しています。

宮代佐吉(愛農と消費者の会の橋渡し役、半田市在住)

①約25年。愛農契約社員として南知多の生産者との仲介役を担当。
 ②池野会長から「時間はあるだろ？やってくれないか」と頼まれました。
 ③大好きなモータースポーツのF-1からトヨタ、ホンダ、ブリジストンの撤退に続き、唯一の日本人ドライバーまで今年からいなくなって、F-1を見る楽しみが半減した。

森嶋久典(副編集長、東海市在住) ①9年くらい。②もともとアトピーの娘のために自給村で米を作っていました。いろり屋千樹と言うオーガニックカフェを開設して、もっと食材について知ることが出来たらいいな、と思ったのがきっかけです。③ベルナルビュッフェと言う画家が好きで、油彩をたまに店に掛けて楽しんでます。最近では五味太郎の水彩を掛けています。

ささきますみ(本の玉手箱担当、刈谷市在住) ①12年以上。最初はノンホモ飛騨が欲しくて入りました。②健康の森の消費者の集いで誘われました。③「本の玉手箱」を書いている私の一番の趣味は”読書”です。子供に手がかからなくなった今、毎日1冊以上ペースで読破できる専業主婦のめぐまれた環境に感謝!

読者からのお便りコーナー

☆久しぶりに見た、注文書、いきいき通信とても懐かしかったです。末っ子がお腹にいた頃は、よく利用していましたが、家の建て替えなどでお休みしたままになっていました。じっくり『食べること』、しいては、暮らし方、生き方につながる大切なことに再度向き合ってみたいと思います（Kさん）

☆東城百合子さんの講演会の情報を載せてくださり、ありがとうございました。月に一回、『豊田自然に学ぶ会』に行かせていただいております。『お母さん台所へ帰りましょう』という題で食育の大切さを教えてくださっています。沢山の方が来てくださるとありがたいなあと思っています。（Hさん）

☆収穫祭ではフリーマーケットに出ささせていただき、ありがとうございました。布ナプキンや布わらじも少し作って出したのですが、愛農のお客さんだからか、気持ちの近い方が多く、（中略）仲間の集いのような、楽しい時間を過ごせました（Oさん）

※たくさんのおたよりありがとうございました。スタッフ一同励みになります。いきいき通信、消費者の会についてご意見・ご提案お待ちしております。

本の玉手箱 ささきますみ

「アイスクリン強し」 畠中恵 講談社文庫 552円（税別）

時代は明治初期。文明開化の中で、主人公は西洋洋菓子屋を開きます。それまでお江戸にはなかった、ビスケット・アイスクリン・チョコレートなど、友人たちも初めて食する洋菓子ばかり。主人公は、いろいろな騒動を解決しながら、今とは比べ物にならないくらい少ない調理器具でおいしい洋菓子を作っていきます。おいしいものを作りたい！という情熱と、変化の時代を体感してください。

「今週のレシピ」好評発売中！！

愛農消費者の会発行の「今週のレシピ」はご覧になりました？全15ページながら、日常のお惣菜からスイーツ、おもてなし料理まで44種類の厳選したレシピが載っています。切り抜きそびれたレシピが載っているかも。販売価格は300円。購入希望の方は通信欄にお書きください。数量限定なので、お早めにお申し込みください。

購入された方のご意見・ご感想もお待ちしております。

わが子が愛農高校に入って⑦
人間関係を学ぶ道場

もともと愛農高校は農家の後継ぎを育てるために作られた。男女共学なのも婚活のためだ。親は農業で忙しく学校に来る暇などない。進路は自分の家に決まっている。

今の生徒の親や祖父母は、農地のない人が多い。農業を将来やるにしても、大学や専門学校に行くと思う。時代が変わって農業だっでパソコンも、英語も、経営も、国際社会も必要である。そして一

番必要なことは、正直なこと、努力を惜しまないこと、続けること、土や人を愛すること、心の強い人になること。

たった三年間では難しいほど、今時の高校生は幼い。しなければならぬことが増えているのに、自立が遅い子が増えている。不登校など社会で疲れた子がやってくる。

その反対に、みんな一斉に尻を叩かれる学校から飛び出した兵もいる。たった二十五名のクラスにこれだけ色々いる。先生の努力に

は本当に感謝している。

愛農の子は、この人間関係の中でいろんなことを学ぶ。人は自分とは違っていろいろだ。カッコイイ人も全部がそうではなく弱い部分もあり、助け合うことが必要なことを知る。今時のなるべくぶつからないように、傷つかないようにという流れと逆行するぶつかり合い。その道場が愛農高校だと思える。ストレスはとつともなく大きい。しかし若者は乗り越える。そして、強い絆と信頼関係ができ、それが人生を助ける。（T）

編集後記

いきいき通信が再開して丸2年がたとうとしています。当初は読者からの反応もなく、この紙面づくりでいいのか、不安に思ったものです。原稿も集まらず、編集スタッフが何本も掛け持ちで書いたり、友達に頼み込んで書いてもらったことも。最近では、読者からの投稿やお便りも増えてきました！！今年は一歩進めて、消費者の会運営にかかわってくれる人を増やしたいと思っています。いきいき通信発行やイベントをいっしょにやりませんか？楽しくて勉強になりますよ。（じ）